

甲府市 農業委員会だより

発行 甲府市農業委員会
住所 〒400-8585
山梨県甲府市丸の内一丁目18番1号
電話 055-237-1161(内線7344)
055-237-5892(直通)
FAX 055-227-8719
編集 甲府市農業委員会だより
編集委員会



おもな内容

ページ

- 改正農業委員会法・本市について……………2
- 農業委員会活動報告……………3
- 農政情報コーナー(中北地域普及センター)…4
- 農感記第33集……………5
- 農業委員会からのお知らせ……………6

青パイア・新規狩猟メンバー

第69号

改正農業委員会法について

平成28年4月1日に施行されました改正農業委員会法について、甲府市農業委員会の対応をお知らせします

甲府市農業委員会では、7月31日より新体制に移行します。これに伴い、農業委員会は、次の3点が大きく変わります。

農業委員会業務の重点化

農業委員会の業務において農地法に基づく権利移動等に関する許可事務のほか、農地等の利用の最適化の推進（担い手への農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進）が必須業務となりました。

農業委員の選出方法の変更

公選制から農業委員は農業に関する識見を有した者を、市長が議会の同意を得て任命する方法に変わります。今後、農業委員の人数は現在の半数程度になり、3月市議会に「農業委員及び農地利用最適化推進委員」の定数条例案として上程する予定になっております。

農業委員の構成要件

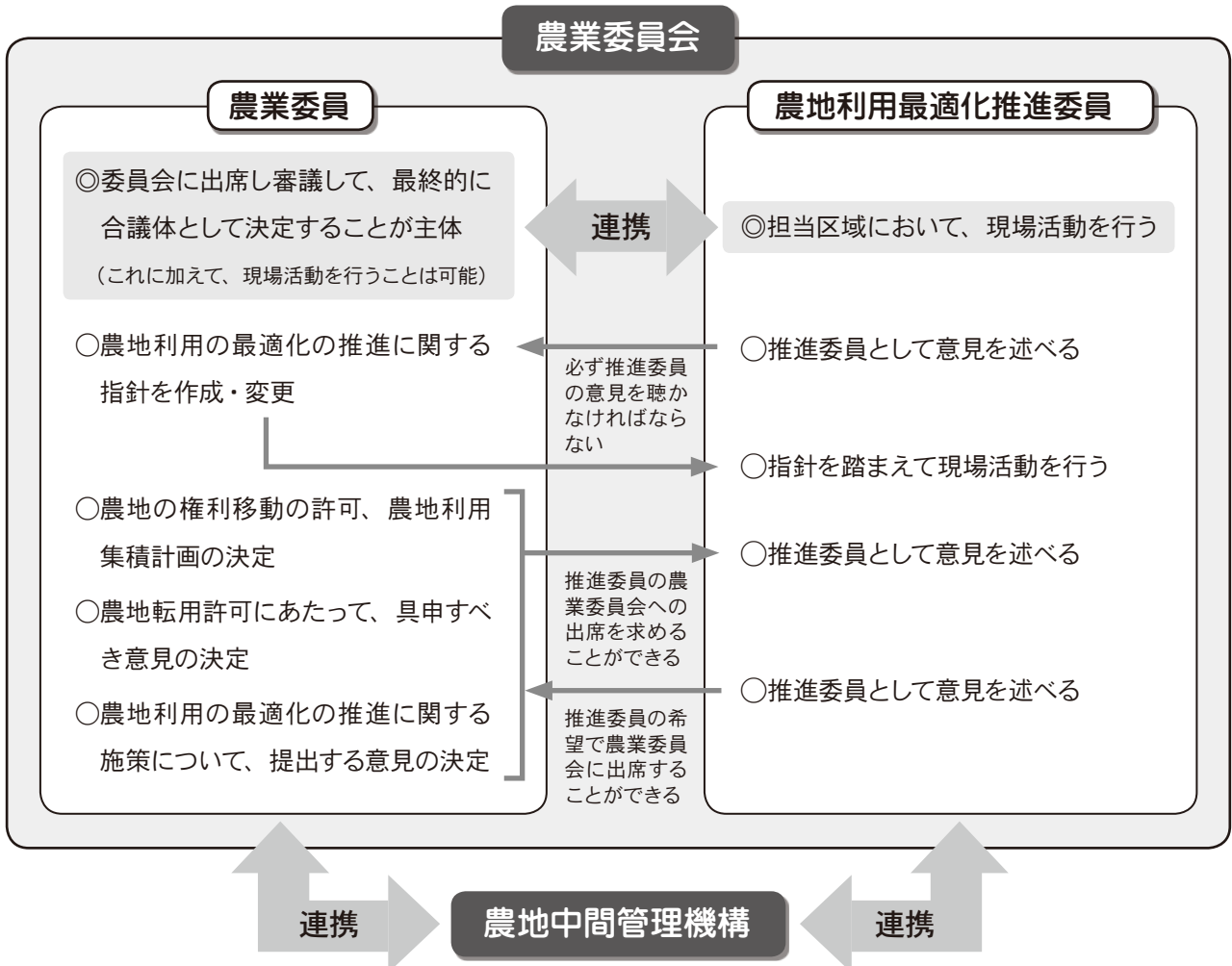
- ① 過半を認定農業者とする
- ② 農業者以外の者で利害関係がない中立的立場の者を1人以上入れること
- ③ 女性・青年も積極的に登用すること

農地利用最適化推進委員の新設

農地利用最適化推進委員が新設され農業委員と推進委員が密接に連携して農地利用最適化に向けた推進活動を実施します。最適化推進委員は、区域ごとに農業委員会が委嘱し、担当区域において、担い手への農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消等の地域における現場活動を行います。なお、最適化推進委員は農業委員を兼ねることはできません。

※今後の推薦・公募等に関しては、甲府市ホームページ上でご確認ください。
<http://www.city.kofu.yamanashi.jp/top.html>

農業委員と農地利用最適化推進委員の連携・役割



農業委員会活動報告

今年度・農業委員の活動

毎月 の 定例 総 会 ・ 農 地 調 査 ・ 運 営 委 員 会 ・ 各 地 域 別

ブ ロ ッ ク 会 議 ・ 改 正 農 業 委 員 会 法 制 度 検 討 委 員 会 ・ 編

集 委 員 会 な ど の 各 会 議 ・ 各 地 域 別

ブ ロ ッ ク 研 修 会 ・ 農 地 利 用 集 積 業 務 (農 地 銀 行) ・

農 地 利 用 状 況 調 査 ・ 農 地 基 本 台 帳 補 筆 修 正 業 務 ・ 各 地 区

に お い て 農 業 に 対 す る 相 談 ・ 各 種 手 続 業 務 ・ 互 助 会 総 会 ・ 更 に は 諸 々 の 行 事 が

実 施 さ れ ま し た 。

○ 5 月 26 日 (木)

東京 都 文 京 区

全 国 農 業 委 員 会 会 長 大 会

○ 7 月 13 日 (水)

甲 府 市 南 公 民 館

長 野 市 農 業 委 員 会 視 察

○ 9 月 1 日 (木)

古 府 中 町 ・ 上 積 翠 寺 町

ブ ロ ッ ク 別 研 修 会 ・ 耕 作

放 棄 地 対 策 ・ 竜 ケ 池 改 修

○ 9 月 21 日 (水)

甲 府 市 役 所 市 長 室

平 成 29 年 度 甲 府 市 へ の 農

業 行 政 策 提 言 書 提 出

○ 10 月 11 日 (火) 12 日 (水)

笛 吹 市

山 梨 県 市 町 村 農 業 委 員 会

会 長 会 議

○ 10 月 13 日 (木)

上 曾 根 町 ・ 下 曾 根 町

ブ ロ ッ ク 別 研 修 会 ・ 柏 幹

線 水 利 権

○ 10 月 19 日 (水)

本 庁 舎 ・ 上 積 翠 寺 町

雲 仙 市 産 業 部 視 察

○ 10 月 29 日 (土)

小 瀬 ス ポー ツ 公 園

第 43 回 甲 府 市 農 林 業 ま つ り

○ 11 月 11 日 (金)

山 梨 県 地 場 産 業 セ ン ター

地 区 別 農 業 委 員 等 研 修 会

○ 11 月 16 日 (水)

甲 府 市 中 道 公 民 館

中 道 地 区 農 地 銀 行 推 進 員

農 業 委 員 合 同 会 議

○ 11 月 17 日 (木)

山 梨 県 地 場 産 業 セ ン ター

県 農 政 推 進 農 業 委 員 大 会

○ 11 月 25 日 (金)

茨 城 県 牛 久 市

先 進 地 視 察 研 修

茨城県牛久市視察研修

平 成 28 年 11 月 25 日 (金)

に イ オ ン ア グ リ 創 造 株 式 会 社 茨 城 牛 久 農 場 へ の 視 察 研 修 を 実 施 い た し ま し た 。



茨城牛久農場にて

イオンアグリは平成21年から牛久市において、耕作放棄地対策事業として農業近代化を目指すプロジェクトとしてスタートしました。本農場においては地域の農家から農地を借り受け、栽培した作物を国内農業の活性化・地域貢献に努めると共にイオンの店舗に出荷しています。農家・企業・行政による、農業の新しい事業展開について充実した研修をして参りました。

中道地区農地銀行推進員 農業委員合同会議

平 成 28 年 11 月 16 日 (水)

中 道 公 民 館 に お い て 、 昨 年 に 引 き 続 き 、 中 道 地 区 農 地 銀 行 推 進 員 ・ 農 業 委 員 会 さ ら に 新 規 就 農 者 も 参 加 し て の 意 見 交 換 会 を 開 催 い た し ま し た 。



新規就農者の様子

合同会議に引き続きの意見交換会においては、新規就農者からの相談内容として、住居と作業場の確保、農業機械の購入等が意見交換されました。本委員会ではこれらの内容が今後の新規就農にかかるとして、関係団体への提言要望を通して解消できればと考えます。

祝・甲府市農業賞 おめでと〜ございませす

河 野 功 様

平 成 28 年 度 の 甲 府 市 農 業 賞 は 七 沢 町 の 河 野 功 様 が 受 賞 さ れ ま し た 。

七 沢 町 苗 木 組 合 を 設 立 し て 優 良 苗 木 を 全 国 に 供 給 し 、 ぶ だ ー 生 産 の 普 及 に 貢 献 さ れ ま し た 。 特 に 苗 木 の 育 成 に つ い て は 高 い 技 術 を 評 価 さ れ 、 県 から 技 術 指 導 者 の 要 請 を 受 け る 実 力 者 で す 。



第43回甲府市農林業まつりで表彰

自らの経営においても減農薬及び省力栽培により効率化を心がけております。今後においてもぶどう栽培におけるアドバイザー役を期待いたします。

普及センターコーナー

中北地域普及センター
(中北農務事務所 農業農村支援課)
TEL 0551-23-3291

J A 甲府市蔬菜部

とうもろこし部会

日本農業賞山梨審査会
最優秀賞(集団組織の部)
を受賞

平成28年10月にJ A 甲府市蔬菜部とうもろこし部会が日本農業賞山梨審査会の最優秀賞(集団組織の部)を受賞したのでその内容を紹介します。

特徴のある作型

J A 甲府市蔬菜部とうもろこし部会は、数回の農協合併を経て平成9年に現在の形となりました。二重トンネルのスイートコーンが経営の基礎となっていますが、ハウス、二重トンネル、一重、露地の作型を組み合わせてたり、水稲やナスと輪作することで、5月から7月の安定的な出荷を実現しています。特に、日照時間が長く、春先早くから気温が上昇する盆地の気象条件

を利用した二重トンネル+水封マルチ(通称・湯たんぼ)の栽培は甲府盆地特有の作型です。この栽培方法は換気による温度調節が重要な作業となることから、換気の時期や方法について、県総合農業試験場(現県総合農業技術センター)の支援を受け、J A 指導部と部会が連携しながら技術開発してきました。



二重トンネル栽培の風景

品種選定

スイートコーンは、甘さや歯触り、香りについて消費者からの期待が大きいく、品種改良がめざましい

強固な共選・共販体制

部会立ち上げ当時から、肥料や農薬、種子などの資材を全て共同購入とし、出荷も全て箱共選としてきました。共同購入することで資材費を下げ、共選・共販にすることにより出荷量を確保し、産地としての存在感を高めています。また、出荷箱も独自の工夫が凝らしてあり、ミルフィューは赤色、しあわせコーンは黄色のイメージカラーが目立つオープンコンテナで、野菜の出荷箱では他では見られないインパクトのある出荷箱となっています。

担い手の育成

平成23年から平成27年の間に5名の新規就農者を迎えました。部会のベテラン生産者が一年間栽培指導し、平行して新規就農者自身も自らの畑で栽培することで早期の独立経営を実現しています。新規就農者はJ A 甲府市直売所「穫れたてLand」に出荷し、栽培の腕を磨きながら規模拡大、共選出荷にステップアップしています。

女性部の活動

とうもろこし部会の女性部会員はJ A 女性部の部員として様々な活動に取り組んでいます。郷土の味を地域に継承していくための味噌づくり、地域の農産物を使った料理教室、農作業事故を減らすための運動教室など、農業と地域の伝統を次代へ伝えるための重要な活動です。また、特産のスイートコーンを使った料理教室やレシピの考案も行っており、中でも「スイートコーンのピュレ」の作り方は雑誌「家の光」創刊90周年の別冊付録に掲載されるなど、高い評価を受けています。

今後への期待

当部会は、早出しスイートコーンを県内で最初に共選出荷した50年以上の歴史を持つています。これから部会員が一丸となって産地が抱える課題や時代のニーズを的確に把握し、山梨県農業の発展を牽引する組織としての活躍が期待されています。



品種検討会の様子

農感記 第三十三集

雑感・里山への思い

右左口町 柿嶋 敦



「春の大雪、里山に住む人の絆強まる。しだれ桜、神宿りし懐に宴の輪広がる。

桃の畑、果実深まる子供たちの笑い声。秋の夕陽、望郷歌人山崎方代の歌しみわたる。」これは、平成二十六年の四季の印象を一節の詩にしたものであります。

公務員を退職後、農業の日々を過ごしている中で、思いは、土や水のこと、桃園のこと、里山の美しさや地域の農業振興など、様々なものがあります。

一面桑畑であった里山が

今では、とうもろこしや野菜、スモモや桃の樹が植えられ、そこで働く人々も高齢化してきています。

我が国の農業施策、制度も時代の変化とともに変貌し、いつしか、農家・農民の実情とは距離が開いてきたなど感じるものがあります。国が農家に合わせるのか、農家が国に合わせるのか、いずれにしても我々の意見がコンセンサスとして国や行政に対し、届かないのが現状であります。

増え続ける耕作放棄地への対応、里山農業における鳥獣害対策、老朽化する農業用水路、農道や橋などの基盤整備の問題、農家所得の向上等、課題は数多く、多岐に亘っており、行政の早急なる対応が必要です。私の地域でも遊休農地が増え、雑草や雑木の整理に

おいては有志が自発的に刈取り作業を行っています。

幸いにも地域には「七覚むらづくり協議会」が存在し、里山の景観保全事業や、耕作放棄地の再活用等農業振興の一助としての事業に取り組んでいます。互いの助け合いが地域振興の根底にあるとの認識です。

三月には、地域にある五社神社の参道に桜の樹百本を植えます。右左口の里山に住んで良かったと思える花の開花を願っています。

この先千年に

西高橋町 萩原 靖彦



明治三年頃の甲府の地に「文明開化はワインから」を合言葉に国内最初のワイン醸造が始められたとき

そんなワイン発祥の地で日本ワインコンクールで2009年から3年連続「金賞」を受賞したワインが、西高橋町出荷組合（橋）出荷組合の甲州ぶどうを原料にした某M社のワインだ。

本組合は総出荷量100トン有するワイン原料の出荷に特化した組合である。町内でのぶどう栽培の歴史は70年程前からである、当時はぶどう棚の材料が揃わなかった頃であり、手作りの木の束杭・コンクリート杭・石に針金を巻いた支柱等、工夫を凝らしてぶどう園を開始した名残などが今でも見られる。

現在、メーカー2社が町内で栽培されたぶどうのみを原料としたワインを、多様な仕込み方をして出荷を行っている。

栽培地の地番には一部町外のぶどう園も含まれているため、収穫地表記は「玉諸地区」となっているが、来年当たりには待ちに待った町名表示の商品も一部発売される運びとなった。

「良いワインは良いぶどうからであり、ワインの品質の90%以上はぶどうのポテンシャルで決まる」と大半の醸造家は口を揃える。

この言葉を思い起こす度に身が引き締まる思いである。甲州ぶどうは千年以上の歴史を持つとされており、私的には恐らく今が一番に面白みのある時代のように感じる。



酒には文化がある。そしてそれぞれ皆、真摯に向き合っている。これから千年先へ何が残せるのだろうか：様々な事象に想いを馳せながらコルクを開栓し、グラスへと注ぐ。これが至福の時である。「乾杯！」では、また。

平成29年度農業臨時雇賃金等標準額

作物	用途	区分等	金額(円)	単位
稲作	耕起代かき	平坦地	13,100	10a当たり
		山間地	14,100	
	耕起	平坦地	8,000	10a当たり
		山間地	8,600	
	代かき	平坦地	7,300	10a当たり
		山間地	7,800	
	育苗(成苗)	消費税・配達代込	1,350	1枚当たり
	機械田植	平坦地	9,500	10a当たり
		山間地	10,300	
	稲刈機械(バインダー)	結束ひも付き	10,000	10a当たり
	脱穀機械(ハーベスター)	平坦地	9,000	10a当たり
		山間地	9,500	
	稲刈・脱穀(コンバイン)	乾燥まで	19,000	10a当たり
初すり共同所有機械	作業賃金のみ		160	30kg当たり
	機械使用料+作業賃金		320	
果樹	剪定	8時間	13,000	1日当たり
	ブドウ棚補修	8時間	16,000	1日当たり
	一般農作業	賄い付き	900	1時間当たり

※稲作作業の場合燃料は請負者持ちとする

農業委員会からのお知らせ
TEL055(237)5892

相続税の納税猶予及び注意事項

相続税の納税猶予制度は、農業経営の存続を税制面から支援する制度です。被相続人から農地を相続し、継続して農業経営を行い、制度の要件を満たした場合に、一定の相続税の納税が猶予されます。既に、この制度

農業者年金にご加入下さい

農業者年金は国民年金だけでは不十分な生活費を農業者が年金の形で受給できる制度になります。
★加入者条件★
・国民年金第1号被保険者

を受けている方は、特例農地の譲渡、贈与、転用、遊休農地化、農業経営の廃止、継続届出書の不提出、また他の要件により制度が打ち切られる場合がありますので、ご注意ください。

平成28年度実績

協定名：平瀬町他6集落
協定参加者：102名
協定農用地：急・緩傾斜
協定面積：169,902㎡
交付金額：2,238,084円

TEL 298-4836
農政課
協定を希望される対象の皆さんは、農政課へ早めにご連絡下さい。

この制度は、農業・農村が持っている水源かん養・洪水の防止・土壌の侵食や崩壊の防止機能を重視し、耕作放棄地の増加など深刻な状況にある中山間地域での農業生産の維持を図り、多面的機能を確保する観点から実施されています。
協定書提出期限は6月30日です。

中山間地域等直接支払い制度が実施されています

・年60日以上農業従事者
・20歳以上60歳未満の方

賃借料情報 賃貸借の参考にして下さい (10a当たり)

作物区分	地域区分	平均額	最高額	最低額
稲作	甲府市平均	12,300円	21,500円	4,200円
	旧甲府市(平坦地)	12,400円	22,600円	4,200円
	旧中道町	10,700円	15,900円	8,300円
野菜	甲府市平均	11,600円	21,600円	4,000円
	旧甲府市(平坦地)	14,000円	25,800円	6,200円
	旧中道町	9,100円	15,900円	3,300円

旧甲府市(山間地)及び旧上九一色村は上記を参考

作物区分	地域区分	平均額	最高額	最低額
果樹	甲府市平均	17,200円	31,600円	6,100円
	旧甲府市(平坦地)	21,600円	36,700円	6,800円
	旧甲府市(山間地)	16,000円	31,100円	8,200円
	旧中道町	8,100円	13,800円	3,800円
ブドウ	甲府市平均	19,900円	36,700円	6,800円
	旧甲府市(平坦地)	21,700円	36,700円	7,400円
	旧甲府市(山間地)	17,700円	33,700円	8,200円
	旧中道町	12,400円	13,800円	10,200円

旧上九一色村は上記を参考

編集委員の皆様、農感記へのご寄稿さらに関係機関として紙面・写真についてご協力下さいました皆様、誠にありがとうございます。

編集後記

「少しでも農家の方のお役に立てればうれしいです。」と心強い言葉をいただきました。熊谷・藤塚氏です。(敬称略)

★狩猟メンバー★

甲府市においても年々鳥獣被害が増加傾向にあります。農家を苦しめています。今年度、市からの補助金を受けて狩猟免許を取得した右から、小澤・岩澤・遠藤・熊谷・藤塚氏です。

★青パイア★

平成28年度より、市農業センターで実証栽培を始めた野菜としての販売を目的に位置付けた熱帯植物の青パイアです。主力栽培品目の補完的収入源を目的に今後、市内農家に普及・推進を図って行く予定です。

表紙写真の紹介